



仁淀川町 2015.11 第41号

# 議会だより



一般質問に立った片岡議員

9月定例会

臨時会・九月定例会

<b>町長行政報告</b> （財政健全化判断比率など赤字とならず！）	2P
<b>教育長行政報告</b> （学力学習状況調査結果報告）	3P
<b>一般質問</b> （若者定住住宅ほか）	4P
<b>高吾北広域町村事務組合報告</b> （各種施設の老朽化）	5P
<b>コラム</b>	
山茶小屋紹介・観光名所「中津溪谷」・仁淀川の鮎漁“今が旬”	7P・9P・11P
<b>議員寄附行為の禁止</b>	14P
<b>平成26年度一般会計歳入歳出決算</b> （健全な財政運営）	15P
<b>Q&amp;A</b> （7月・8月臨時会・9月定例会）	16P
<b>議長一口メモ！</b>	22P

高知県仁淀川町議会

TEL 0889(35)0111 / FAX (35)0571 / 発行人：議長 岡田良成 / 編集：議会だより特別委員会 / 印刷：(株)高知新聞総合印刷



## 平成27年9月定例会 町長行政報告

# 新庁舎新築設計見直し 合併10周年記念事業

(国の動向など)  
国の平成28年度予算概算要求基本方針は、デフレからの脱却と中長期的に持続する経済成長の実現を目指し、まち・ひと・しごと創生や公共サービスの改革に取り組みとしており、一般会計要求総額は102兆4千億円程度となり3年連続過去最大を更新。

### (決算・財政状況)

一般会計は、歳入総額81億4千782万円、歳出総額77億9千480万円で歳入

歳出差引額は3億5千302万円となり、翌年度繰り越し財源1億6千203万円を差し引いた実質収支額は1億9千99万円。

一般会計と国民健康保険等の7特別会計を合わせた歳入合計は108億4千59万円、歳出合計は104億8千102万円。

地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく「財政健全化判断比率及び資金不足比率」は、実質赤字比率並びに連結実質赤字比率についてはいずれも「赤字とならず」将来負担比率も充実可能財源が上回っている。

実質公債費比率は継続して行った繰上償還などにより昨年度より1.5ポイント減少し2.8パーセントとなり、県内トップクラスの数値であるとともに健全な財政運営ができています。

今年度の普通交付税額は前年対比3.2%増の36億6千363万1千円が交付決定となったが、今年度で10年間の合併特例期間が終了し、来年度から5年間の激変緩和措置期間を経て減額され、厳しい財

政運営を余儀なくされること予想される中、事業の優先順位や必要性を十分考慮し、財政規模に見合った行財政運営を目指す。

### (庁舎新築)

9月1日に5企業体の参加により条件付き一般競争入札を行った結果、1回目の入札では最低入札額が予定価格を上回って不落となり、2回目の入札はすべての企業体が辞退し入札中止となった。

原因は今、全国的に問題となっている、技術者不足と資材の高騰によるものと推察する。この傾向は今後も続く予想され、これから設計業者と協議を行わなければならない。

設計内容の見直し並びに入札の公募には4カ月ほどの期間を要すると思われる。

### (国勢調査)

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態などを明らかにすることを目的に5年ごとに実施されている。

今回の調査は大正9年

に行われた最初の国勢調査から数えて20回目となる。国勢調査から得られるさまざまな統計データは国や地方公共団体の行政施策や立案するための基礎資料。国民の共有財産として研究や教育活動、経済活動など幅広い分野で利用されている。

今回からインターネットを利用した回答も可能となっている。

### (10周年記念事業)

10月4日に開催予定のハーフマラソン大会「くいしんぼマラソンin仁淀川町」は、インターネット申し込み方法では2日間です。400人に達し、郵便振替での申し込みも多数いただいた。当日の棄権者を想定して募集定員500人を上回る527人の申し込みを受け付けている。

安全面では佐川警察署や消防団、専門会社、高吾北消防署、医師の待機などにより安全な運営を図る。

コース内には6カ所の給水所を予定し、水やスポーツ飲料の他、町内の特産品やお茶の接待など

も計画しており地域をあげてもてなしたいと考えている。

また当日は会場での特産品販売を計画し、現在8団体から出店の話をもっているが、他にも出店可能な団体があれば出店を願っている。

なお、町内の小学生には各給水所にて選手の手伝いや、中学生には体験走などの検討をしている。

10月9日には、NHKラジオ「真打ち競演」の公開収録が旧吾川中学校で午後6時から行われる。

10月18日には旧吾川中

学校にて10周年記念式典及び記念イベントを開催する。当日は秋葉の鳥毛ひねりや神楽、太鼓踊り、高校生などによる創作よさこいなどの披露や、会場での出店団体についても町内の数団体より協力の申し出を受けている。

10月28日から11月1日までの5日間は本町に高知新聞移動編集局「ふれあい高知in仁淀川町」が予定されている。

町内に設置される編集局の記者による本町の情報収集や高知新聞紙面への掲載をはじめ、高知新



給水所のランナー



聞社の保管する仁淀川町の報道写真展、ワークショップ、コンサートなどを予定している。

(マイナンバー実施に伴うセキュリティ対策)

国においては平成25年度に番号関連4法、マイナンバー法を公布し、社会保障の給付申請や届出の際の添付書類削減、税金の確定申告簡素化、社会保障に関する自己情報を入手できる制度などの整備を行いシステムの構築を行っている。

システム構築には全国の市町村との連携が必須となるため、本町においてもこれにかかるシステムの構築を行っている。

(地域密着型サービス業者の指定)

質の高い密着型サービスを提供する観点から、認知症対応型通所介護施設の募集を行ったところ、1事業者からの応募があった。今後は応募者から提出された書類の内容確認と審査を行い早期の開所を目指す。

(手造りの森事業)

旧池川町において始めた「手造りの森事業」は

1口30万円で投資を募り、30年後に伐採して販売収益を分配する内容で、現在の契約者数は162人で209口の投資がある。

この事業を始めた当時は木材価格も高く、さらに上昇する見込みであったが、木材価格の下落が続く今後も回復が見込めない状況である。

このことから契約満了の平成33年に1口30万円の収益分配は困難であるため、出資者より希望を募り1口30万円の額面で町が権利を買い取り出資者への元本保証を図りたい。

(職員採用)

合併以来職員適正化計画に基づき削減に努めてきたが、福祉・防災の分野などにおいて業務が増加しており退職者補充のため職員の採用を行うこととした。

採用は一般行政職と保健師でそれぞれ若干名として募集を行ったところ、一般行政職23人、保健師3人の応募があった。



## 平成27年9月定例会 教育長行政報告 学力学習状況調査 結果が発表

1学期末に台風が襲来し、終業式を1日繰り上げ夏休み。夏休み中、大きな事故もなく過ごし、9月1日に新学期を心新たにスタートした。

8月末に、学力学習状況調査の結果が発表された。

教科に理科が加わり国語、算数(数学)の3教科で調査、高知県全体の結果は、中学校の学力定着に大きな課題があると報道されている。

み、県全体の傾向とは逆に、中学校ではすべての学科で県平均を4～10ポイント、全国平均も1～4ポイント上回り、頑張っている。

しかし、小学校はすべての学科で県平均に1～6ポイント低い状況、全国平均でこれを超えているのが国語AとB、算数と理科は数ポイントから6ポイント下回る状況。

小学校のこの状況は大きな課題で、25年度には学力向上緊急対策組織を立ち上げ、職員の意識改革、授業改善に取り組んできた。

この夏も、教育講演会を開いて研修を徹底、組織全体の改善対策を実施し、効果として26年度、27年度と幾分の改善も見られる。今後も危機感を持って授業改善など教育の質向上に取り組んでいく。

次に、独立行政法人国際協力機構(ジャICA)が行う政府開発援助の一環として、9月11日(金)にミャンマーなど11カ国から16人の研修視察団を、本町別府小学校に受け入

れた。

これは「へき地」での「学校運営や学校と地域のかかわりについて」の研修を目的として、本町を研修先として選定したもので、研修後、視察団と行政や教育機関との情報交換会が行われた。

次に、各学校を対象に進めている非構造部材耐震改修工事が、これまでに池川中学校、池川小学校、長者小学校、別府小学校が完了、またはほぼ

完了。

仁淀中学校は現在も同校技術棟改修工事とともに工事を進めている。9月に入り、例年どおり各学校も体育行事や文化行事、また、生涯学習分野での行事が予定されている。

今年度は本町誕生10周年の記念事業や各種行事が予定されており、多くの町民の皆さんのご参加をお願い申し上げます。



研修視察団と別府小学生

## 社会福祉協議会 その後の運営は？

答

町担当課長などと  
積極的に指導監督



問

片岡智準議員

6月の議会で質問をし、その後の推移を聞く、と、会長、理事(副町長)が退任したと聞く。現場が厳しい時期に退任は体制刷新かあるいは別の理由か。その真意と訪問介護部門のヘルパーが大量に退職、この危機をどのようにに対応しているのか、利用者に不便をかけてないか運営状況を聞く。

答

町長

社会福祉協議会(以下、社協)前会長は任期満了に伴う退任。副町長は社協との関係が深まる中、地方自治法の兼業禁止条項に抵触する恐れ、また社協を指導する立場にあり、不合理も生じ適正を期するため理事を退いた。

今後は指導監督に軸足を置き、社協と町で運営を協議する場を新たに設け、町担当課長などと共に積極的に指導監督に当たり、運営の充実強化を目指す。

訪問介護部門がヘルパーの退職により機能しなくなっていないかと質問。退職原因について、社協には正規職員に準じた形態の臨時と、臨時を補完するために短時間勤務するパート職員の2種類がある。

臨時の日給制に対してパートは不定期な時間帯雇用の時給制で、具体的には1時間あたりの賃金額に、臨時とパートでは最高で87円50銭、パートが高く設定されている。

これは、パートが不利な条件での勤務形態から若干高くなっていた。

しかし、近年パートに占める業務の割合が高く、1日7〜8時間勤務となり本来のパートの域を越す勤務実態から、訪問介護員以外の介護員との均衡を図り、合わせて不安定な雇用形態から新たな臨時職員契約を結んだもの。

この契約内容が十分伝わらず、また、過去3年間の賃金所得で日給を決定したことで不満退職も出た。

しかし、個別に聞くと賃金不満がある一方、現在が良いとの声、組織内部に対する不信・不満、将来への不安など多種多様な問題が見えてきた。また、処遇改善加算金は支払われていたが記載の方法で改善余地がある。

社協は退職者対応として、人事異動でデイ職員を訪問介護に配属、常時15人を確保、サービス低下防止を図り、また退職者を抑制するため業務環境改善のため新たに臨時職員2人を採用、8月現

在、利用者77人の訪問介護をしている。

問

片岡(智)議員

従来なら、ここまで対応しなかった。細部にわたって調査され、改善に向かっている方向性は理解した。社協もある意味で過渡期を迎えている。それは「人材不足」。

町長は懸念がないような説明だが、実態では払拭されてない。また、新局長が懸案事項に対処したなど評価すべきところもある。しかし、今一度平成22年12月28日付の「指定管理者制度の運用について」を再確認し、法令の遵守や雇用・労働

条件への適切な配慮がされているか検証し、また、このたびの変更は社協単独の判断か行政が関与したのか、原因の根本は何であったか調査の上、根本的な解決策を導くよう指示をされたい。

私が執拗に本件を問う理由は、指定管理者の指定をはじめ予算責任は議会にあるからだ。

答

町長

社協は町行政のうち福祉行政という大きな役割を担っており、利用者が安心して心豊かに過ごしていく上で、担当者の労働条件、職場環境について社協も一生懸命取り組



体制が充実される予定の社会福祉協議会

んでいる。

問

片岡(智)議員

最後の質問で確認する。福祉関係は本来行政の仕事。行政の仕事は多くなり、また福祉の内容も専門的になり、必然的に平成18年9月「指定管理者制度」あるいは行政の直営制度となった。

このことを十分自覚認識してほしい。訪問介護で従事者がいなくなれば町がしなければならぬ。赤字がどうこういう、お金の問題を飛び越え、火の粉が降りかかってくることを認識し、利用者、働いている方々から「社協はようになったよ」と言われる組織に、それには「職員に感謝の気持ち」が芽生え、それが当たり前になることを願う。

答

町長

社協は重要な業務を担っており、なくてはならない存在。

社協ができなくなれば町が責任を持つことになり。そんなことにならないため利用者から信頼され期待されるよう、一緒



## 10周年記念事業について

になつて頑張つていきたい。

### 問 片岡(智)議員

10周年記念事業は記念誌の発行、ハーフマラソンなど合併10周年にふさわしい行事か。

記念誌、その中の出来事が今も受け継がれているか、他町村の方々が大半を占めるハーフマラソン、これでいいの。

10周年の行事は、全町民が全員参加し、町民一丸となり、町の活性化、過疎少子化の歯止めになる全町民参加型の行事を、実行する思いはないか。

### 答 町長

合併10周年事業は町内の各種団体の方や地域代表の方に参加いただき6度の検討委員会を開催、行事の提案をいただいた。

10月18日、旧吾川中学校体育館で式典、太鼓のセレモニーを行い、町10年のあゆみダイジェス

ト、町の花・木・鳥の発表や午後からは「仁淀川町のおきやく」イベントを用意、催しには高校生よさこい、都踊りや地域神楽を計画、町内の伝統行事が一堂に会する機会を楽しんでいただく。

### 問 片岡(智)議員

式典行事はそれなりに評価できるが、マラソンは参加者500人のうち町民は9人。これでは町民が参加せずごみを捨てられ、し尿処理排出負担は町持ちにもなりかねない。ここで一つ提案をする。

各地域で個別に実施されている「文化祭」。それには場所の関係、輸送手段などの問題もあったが、10周年という節目の年に町を挙げて取り組むべき行事だ。

### 答 町長

文化祭も確かに行事の一つ、しかし、にわかに改めるとなると、協議打ち合わせが必要となる。

このたびのイベントに全労力を傾注しており、今後は20周年などの際に検討する。

### 問 片岡(智)議員

町はすべてについて、委託、委託。委託すれば楽になるがお金が必要だ。

かつて植林施策がとられ、山の大半が植林、お茶が良いといわれ畑が茶畑に、今、原木の価格は下がり、お茶の価格は暴落。私が言いたいことは、他を当てにせず、町内の方と役場職員が中心となつて行政を進めること。

### 答 町長

何をするにしても、地域が主体性を持つてやることは、その通りと思う。

今、一部委託しているが、地域の雇用危機などを含め、検討会や実行委員会が地域の声を大事にしていく。

## 高吾北広域町村事務組合報告

9月2日(水) 定例会

### 介護福祉施設人手不足対策は

#### 問 片岡智準議員

新聞紙上で急激な人手不足の記事が掲載され「深刻化」を増している。当事務組合も多くの

方を雇用している。新聞によると衣料品メーカーでは人手不足の危機対策に「週休3日制」を打ち出している。

これは逆に人手が必要になる反面、勤務の多様性が広がり、他社への転職減少や雇用の安定が図られると見ている。

聞くところによると、知人・友人・縁故などを通じ、「ヘルパー」や「介護福祉士」の、「誘い」が行われていると聞いている。

各施設ともヘルパーを含め現場の負担軽減にもつながる人員増あるいは働き方の多様化を模索しているか伺いたい。

### 答 施設長

難しい財源の中で、サービス向上や臨時職員のフレックスタイムなど雇用環境には十分配慮し、今後も危機感を持つて臨む。

#### 問 片岡智準議員

職員に対する気配りと共に、動向・動静を掌握する意識を持っていたいただきたい。施設内で不満や

### 事務組合各種施設が老朽化

平成5年に建設、稼働開始した清掃センターは、稼働開始後21年が経過し、老朽化した設備を更新する大規模改修を行い、当初の性能を回復した後に適切な修繕を継続し、施設を長寿命化することを進めていく。

各種トラブルが発生し、環境が変化すれば現状維持の厳しさを心に留め、業務に当たっていただきたい。



大規模改修予定の清掃センター

**問** 本町には条例に記載されている集会施設と、各集落の地区集会所がある。

地区集会所の役割を地域住民がどのように捉えていると考えるか。行政側から見た地区集会所の位置付けは。地区集会所の数と、施設の維持管理はどのようなになっているのか。

**問** 藤村良太郎議員

## 集会施設について

**答**

指定避難所・デイ利用で重要な役割



**答** 町長

また、町の条例施設はどのような場合に利用されているのか。これらの施設を利用する場合、使用料が定められているが、使用料を徴収している事例はあるのか。

町内には町が管理する集会施設と、地区の集会所がある。地区集会所の役割については地区の会合や行事を行うとともに、地区によっては指定避難所や選挙の投票所、またデイサービスを実施し、地区内の重要な役割を担っている。

地区集会所の数は吾川



西古城山地区集会所

51施設、池川11施設、仁淀43施設で、これらの施設は光熱水費を含めてすべて地区が維持管理。

町が管理している施設は、社協主催のいきいきデイサービスや地域で行う健康体操、地域の祭りやイベント、詩吟や太鼓など地域で活動する団体の練習、地区の総会、地域団体の会合、社会教育や社会体育活動などに利用されている。

施設の利用料を徴収している事例としては、宴席や帰省時の宿泊、葬祭や法事、歌謡活動などで利用時間区分により徴収している。

**問** 藤村議員

長者の西古城山地区は旧仁淀村が保健師の駐在所として建築した建物を集会所として利用し、毎月1千円の利用料を支払っている。

また、この建物は公共建物でありながら屋根替え工事には負担金も出している。条例にある仁淀川町多目的集会所や仁淀川町農業集落環境施設は地域のコミュニティ活動推進や福祉の増進、生涯学習の設定などに寄与することを目的とされ町長が管理をすることとなっているが、実態は地区集会所と同じような形で利用されている所はないか。

あるとすれば町の条例に記載されているだけで、維持管理をしていない地区と、西古城山地区のように公設でありながらすべて地区で維持管理をしている地区とは不公平が生じるのではないか。

また、地区集会所のみの使用実態であるとするならば維持管理の経費に

については地元が負担をすべきと思うが、町民がこのようなことを知っていると思うか。

**答** 吉田仁淀総合支所長

議員の言ったとおり、仁淀地区では西古城山地区と別枝芋生野地区で保健施設として建設したものを賃貸契約している実態がある。

**問** 藤村議員

本町の人口は年々減り続け、地区の世帯数も減少し収入は年金のみの世帯がほとんどの状況で地区費を納めるのが大変な世帯もある。

今後、地区集会所の維持管理費を地区で賄うことが困難な地区も予想される。地区の維持管理費について補助事業化を図ることはできないか。

また、これらの集会所が災害などで被災し、修繕や建て替えが生じた場合や施設の老朽化により改築が必要になった場合、地元負担20%が捻出できず町に支援を求めた場合、どのように対応するのか。

**答** 町長

集会所を含め集落の維持管理については高齢化が進む中で大変厳しい状況になっていることは十分承知している。

現在は80%の補助を行い残りを地元負担で制度化しているが、地区管理集会所すべてを町が負担することは大変厳しい。

地区集会所は地区の拠点となる大事な施設であり、財政事情も勘案しながらどのような制度を作ることができるか今後検討していきたいとは思いますが、現状では今の制度で理解願いたい。

## 外灯について

**問** 藤村議員

本町のほとんどの地区に外灯が設置され、夜間でも町民が安心して往来できている。この外灯の維持管理については行政が維持管理を行うものと、地区で維持管理を行っているものがある。これらの区分はどのように考えているのか。ま



た集落内に外灯があるにもかかわらず、維持管理を町がすべて行い地区では負担していない所はないか。

## 答 町 長

町内には多くの外灯があり、これらは役場管理と地区管理のものがある。基本的には公共施設周辺の防犯目的で役場が設置し管理しているものと、夜間の通行安全のために地区が設置管理を行っているものがある。

地区で管理している外灯の経費や管理面で地区の負担増となっていることは承知しているが、解決策が見あたらない状況。外灯の設置や修繕の要望があった地区についてはLED電灯の使用などを提案するとともに、原材料費については町の補助事業により100%の補助を行っている。

## 問 藤村議員

行政が設置するものは公共施設周辺や公衆トイレ、公園などに設置されるのが基本。  
旧仁淀の場合は役場が

設置したものは役場で支払い、地区で設置したもののについては地区で払ってきている。

地区の人数は減り、世帯数は減り、収入はない。そんな中で年間の維持費を払うのは大変な状況。

竹谷地区でも外灯が28基あり、電気代や維持管理費などで年間10万円くらい掛かっている。

今後文字通り集落の灯を消さないためにも、年度末に外灯の電気代や掛かった維持費の領収書を添付して補助申請をした場合、半額あるいは6、7割を補助するような補助基準の検討はできないか。

## 答 町 長

地区によってはかなりの数の外灯があることで電気代もかさみ、また小さい集落には大変負担が重くなってくることは認識している。

電気代についてはそのような状況もあるので、旧3町村でそのあたりを調整しながら言われた意見を検討していく。



## (1) 山茶小屋紹介

私たちは平成27年4月から、仁淀川町移住交流拠点施設（旧池川自然学園）の、運営管理をしています。「山茶小屋」と言います。まずは「山茶小屋」の、由来から紹介したいと思います。

その昔、畑仕事へと山に登り、休憩時には、その辺にある山茶から葉を摘んで、畑の近くの簡素な小屋で、茶葉を煎ってお茶を飲んだもの。「山茶小屋」には、そんな昔の暮らしを残していきたいという思いが込められています。

そして、日本一の清流、仁淀ブルーの水とお茶を使って、昔からの飲み方を、今の若い人たちにも伝えたいと思い、山茶小屋流茶道を作りました。この施設にいられた大学生や、都会からの施設見学の人たちに披露したところ、初めての体験だと大変喜んでいただきました。

60年前の水量に戻ってほしいと小さな活動ではありますが、仁淀川町で少なくなった花木の種を集めて、協力者の人に苗木を育ててもらっています。欲しい方がいればお分けできればと思っています。また、昔の人たちの、山暮らしの知恵、伝統文化や食などを、後世に受け継いでいきたいと考えています。

主な活動内容としては、移住交流拠点施設の管理です。敷地3haの中に9棟の建物があり、その中の1棟がシェアハウスとなっています。今現在移住された方3人が暮らしています。



お茶摘み体験や田舎料理の提供をしており、毎月第1土曜日に、意見交換交流会としてテーマを決めて、ミニ講演会をボランティアの方にお願ひして行っており、今後この施設の活用

一般社団法人 山茶小屋代表 石本 和美

仕方などのアドバイスをいただいています。

移住された方と、積極的に地域の伝統的な神祭や、道づくりなど一緒に参加して、地域の方との交流を深めている中、新しい人たちが、地域の活動に参加してくれていることを、大変喜んでくれています。

今までの活動は開所式、移住者同士と地域の交流会、旧七夕祭りイベント、移住された方々との交流会などを行ってきました。

今後の活動としては、11月に伝統文化の講演会と神楽鑑賞会、12月にはお正月準備イベントで、餅つき、正月飾りなどをやる予定になっております。このような活動を通じて県内外の方々に興味を持っていただき仁淀川町に来ていただきたいと考えております。

これからも、仁淀川町移住交流拠点施設山茶小屋をよろしく願ひします。



意見交換交流会準備中



移住交流拠点施設

## ヘルパーが多数 辞職している問題点は



問題解決に向け  
一体となって取り組む

問

竹本文直議員

社協が管理運営の「ほか」ヘルパーが多数辞職している。原因はいろいろあると考えるが、町長はどのように理解、把握しているか、問題点は何か、社協を立て直すには町として何をすべきか。

答

町長

「ほか」の訪問介護員

が今年度3人退職している。経緯は、雇用、賃金形態に対する不備、不満、将来に希望の持てない閉塞感、結婚、妊娠とさまざまな理由がある。このたび、退職者が出て、さまざまな問題、課題が顕在した。町として社協との連携を深め、一方では社協内部の意思疎通を図り、相互理解を深め、この問題に関わる全員が問題解決に向けて一体となり取り組むとともに、町内事業者と町とが有効な新規就労者対策を講じ、併せて、訪問介護員移住推進などの対策を考えている。

問

竹本議員

実際には4人が退職。

一番の問題は、危機管理体制が社協にはない。業務上起こりうる、さまざまな問題を先送りして、どこかの時点で噴き出す。昨年からいろいろな問題解決のため、「公益法人等への職員の派遣等に関する条例」に基づき職員を社協に派遣し、社協の管理体制の立て直しを図ってはどうか。

答

町長

社協も今年の4月から新体制で、意識改革も図りながら職場改善を図ろうとしており、社協の取り組みを我々も期待している。ヘルパーなどの人材確保については移住対策の中で考えていく。

問

竹本議員

社協が自ら取り組む、それは当然で、その取り組みをサポートするため、役場職員を派遣して、管理体制を早急に確立してほしい。

訪問介護員の確保も抽象的な言葉ではなく、具体的にどう確保していくのか。

答

町長

山間部での訪問介護の経営は厳しい、県の支援も要請しながら人材確保に努めていく中で、利用者、町民の皆さんが安心して暮らせるよう、町と社協が一緒になって、課題に取り組んでいく。

## 副町長が社協の理事を 辞退した件について

問

竹本議員

今まで、社協の理事として、中心的役割を担ってきた副町長が、なぜ今、理事を辞退したのか、理由を示せ。

答

副町長

地方自治法第166条第2項で準用する、同法第142条の規定の兼業禁止条項に抵触する可能性があるため、理事再任を辞退した。

問

竹本議員

地方自治法には、副町長の兼職規定は同法第142

答

副町長

(株)アプロスの場合は2

〔副知事及び副市町村長の兼職・兼業禁止及び事務引継〕  
第六十六条 副知事及び副市町村長は、検察官、警察官若しくは収税官吏又は普通地方公共団体における公安委員会委員と兼ねることができない。

② 第四百四十一条、第四百四十二条及び第五百九十九条の規定は、副知事及び副市町村長にこれを準用する。

③ 普通地方公共団体の長は、副知事又は副市町村長が前項において準用する第四百四十二条の規定に該当するときは、これを解職しなければならない。

地方自治法（抜粋）

分の1という出資形態が明確になっている。社協の場合は基本財産の構成、出資形態がはっきりしていない。今の段階で、町が2分の1以上の出資者たるものが明確に確認できない中で就任するのはいいかなものかという判断をした。

問

竹本議員

地方自治体として、必ずやらなければならない、公共福祉を主とした団体については、町が関与してかまわないという文献もあり、首長が社協の会長を兼職している自治体もある。

答

副町長

(株)アプロスと社協、どちらが公益性が高いか、考えるまでもない。責任ある立場の方が責任ある行動を取っていただきたい。

(株)アプロスについては明確な規定がある一方、社協については、その形態が明確でないため、適正を図り、万全を期するために理事を辞した。



## 若者定住住宅について

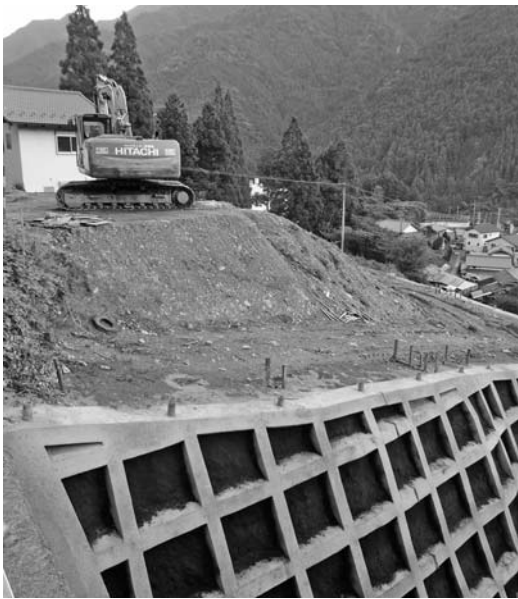
## 問 竹本議員

今までのやり方では若者の移住、定住は難しい。次の提案をする。

- (1) 敷地を無償貸与する。
- (2) 1人最高1千500万円を無利子融資する。
- (3) 20年で返済する。
- (4) 車の購入代金として100万円まで補助する。

ただし条件として、

- (1) 小学生以下の子どもがいること、もしくは、子どものできる可能性のあること。
- (2) 返済が可能なこと。
- (3) その地域の「もやい」



竹ノ谷若者定住住宅予定地

に積極的に参加できること。

(2) 住宅建築に際しては「町産材の家推進事業補助金交付要綱」に定められた内容で行い、施工は町内業者で行うこと。

若者が定住し、子どもが増えることによってその地域は活発になる。地域での若者の存在は、介護、福祉、防災それぞれの分野で大きな力となる。1戸2千万円ほどの家なら町内の大工さんで十分対応可能。持ち家にすることで転出を防ぐことにつながり、固定資産税が入る。

地域にはしきたりや、決まり事、行事などがある。

る。その地域に馴染めない人が入ると、その地域にとっては迷惑な存在となり、双方とも不幸になる。

田舎では車なしでは生活できない、1ターンの移住する方は車を所有していない可能性がある。

## 答 町長

人口減、過疎化の抑制を実現するためには多方面にわたり、さまざまな取り組みが必要と考える。

いろいろな取り組みを参考にして検討していく。

## 問 竹本議員

人口が増えることで地方交付税が当然増える。地方税、固定資産税などのことを考えると町としての損はしない、財源はひも付き財源でなしに、基金を利用した自主財源で行うことが良いと考える。

## 答 町長

基金などを利用した自主財源で、町独自の住宅施策を考えていきたい。



## (2) 観光名所「中津溪谷」

仁淀川町には多くの観光名所があります。しかし、町内に住む住民ですら一度も行ったことのない場所がたくさんあるのではないかと、このたび感じた所がありました。

他でもない「中津溪谷」です。驚きやら、自身のあまりにも無知に、ただただ恥じ入りました。

子どもたちから数回遊びに行き熟知しているはずだったので、孫を連れ公園散策、危険箇所を注意しながら進むに連れて感じたことは、子どものころに感じた、奇岩の連なる自然のオプジェに目をみはるものがあり「えー前からこんなかったかなあ」と、目を疑いたくなるありさま、中津川の流れは「エメラルドグリーン」で川底まで見え、千差万別の奇岩は「奇観」を形成し、遊歩道周囲には紅葉が垂れ、また対岸をつなぐ沈下橋や

朱塗りの架け橋は「雲上の橋」にも見え、遊歩道に落ちる雫は「涼」とツルリ（すべるところ）があり注意」が隣り合わせ。

遊歩道を進むにつれエメラルド色の「龍宮淵」や「紅葉滝」が目を楽しませてくれます。

極めつけは高さ数十



雨龍の滝

メートル上空から数条にわたって落下する「雨龍の滝」。一条は滝壺へ、また他の一条は岩肌を伝って落下し、他の一条は一直線に本流へと落下、滝壺はエメラルドグリーンに光輝き壺の口は赤みを帯びその上空にかかる虹の架け橋、この美しさは筆舌しがたく、必見の価値あり。(写真参照)

他にも道中には七福神が祭られ、心を癒やしてくれ、恐怖と驚きと感激・癒やしのコースとなっています。所要時間は休まず歩けば20分足らずで雨龍の滝まで行けます。

町内の方でまだ行ったことがない方はぜひ足を運んでいただき、町民一人ひとりが観光特使となっていたいただき多くの方に、この観光名所を広めていただきたい。

片岡智準

# 新庁舎建設 町産材の活用は

**特殊なもの以外は  
積極的に**



**問**

片岡政徳議員

池川・吾川中学校が統合、2年が過ぎ、学校活動も強化、活発化された。

一方で、統合前まで伝統的に行われていた卒業時の雨ヶ森への登山と、昭和59年から行われていた神楽指導が中止となっているが、理由を聞く。

また、池川中歴代の卒業写真が中学校に掲げていない理由と今後の対応は。

**答**

教育長

雨ヶ森の登山は、山頂付近が険しく、20人以上の登頂には課題があり見合わせている。

神楽指導は、統合までは30人ほどの取り組みだったが、生徒数が60人となり、衣装、道具などの問題があり保存会と協議、今後は希望者があれば取り入れる。

卒業写真は耐震化工事で取り除いたが、工事も終わった今、掲示の方法を考える。

**問**

片岡(政)議員

「継続は力なり」の吾川中学校の校訓は、統合しても生かすべきと考え

旧吾川中学校の玄関にトロフィー、写真、表彰状が放置の状態にあるが、対応を聞く。

**答**

教育長

地域文化の継承は大事で、知ることも大切。今後十分に見極め、教育活動を進める。

写真、表彰状などの件は、保管場所を確保し管理をする。

**問**

片岡(政)議員

統合した時点で、選別し保管場所を決め、速やかに管理すべきだ。

**答**

教育長

当時、委員会が発足し、選別しているが状況を見直し対応する。

## 町産材の使用状況

**問**

片岡(政)議員

新庁舎建設木材は町産材を使用する要望が多くあったが、伐採、搬出、製材などの予定は。伐採量は何㎡を予定しているか。

内装、建具、机、椅子、備品は町産材で設計となっているか。

木造部の施工は町内施工者が参加できるか。

**答**

町長

町産材は別枝地区鳥形山の町有林の一部、伐採、搬出し、構造材の試験体中使用、残りは製材し保管している。足りない分は、27年度で鳥形山と北川の町有林を伐採する。

内装、建具は、特殊なもの以外は町産材で設計している。

机、椅子など備品は建築工事に含まれないが、机やカウンターなど町産材で作れないか検討する。

施工に町内業者の参加は指定できないが、優先的に参加できるよう、落札業者と協議する。

**答**

竹本総務課長

搬出量は、26年度326・4㎡。27年度は1千100㎡。

**問**

片岡(政)議員

製材は町内業者を考えているか。

**答**

町長

試験材はすべて地元で製材加工を行った。今後も基本的には、町内で伐採、搬出、製材加工、乾燥を考えている。

## 自然を生かした特産品

**問**

片岡(政)議員

本町は、水質日本一の清流仁淀川の水源となっているが、この自然の山菜、アユ、アメゴを生かした特産物が見受けられず残念と思う。

町長は常々「自然を生かした商品作り」と言っているが、今後、自然の産物を使った商品開発の対策を聞く。

**答**

町長

山菜、川魚の加工品を特産物にと考えているが、一定量が必要で、鮮

度の問題もある。

本町は森林圏、木材を加工し、商品化すれば量的にも可能と考える。

**答**

総務課長

観光協会に委託し、商品作りを行っている。また、近畿仁淀川の会員から本町の野菜を言われ、山菜、野菜、アユなど自然のもので商品化を依頼した。

**問**

片岡(政)議員

新聞記事では、越知町の特産品のアユについて、職員が自ら動き、仁淀川のアユを特産品として発送し、人気となっている。

本町にも多くの漁師がおり、多くのアユを獲って冷凍されている。それらを集め商品化に職員が動いてはどうか。

**答**

総務課長

職員は業務中できないが、自然産物の商品化を検討する。

**答**

町長

自然産物の商品化には強い思いがあるが、生産体制が整わなければならない。

賞味期限、衛生上の問題など安全、安心で新鮮な商品をお届ける対応が必要となり、一挙には難しい。

**問**

片岡(政)議員

目標がなければ協力できない。

町長が方針を決めれば協力でき、職員も動く。

**答**

町長

商品化に時間をかけ、観光協会を中心に、供給体制を整え対応する。



旧吾川中学校玄関横トロフィーなど



## 地域協力隊員の 定住方策は

**答** 応募者の自主性に



**問** 西森常晴議員  
3年間の任期を終えた地域おこし協力隊員の状況は。

**答** 片岡企画課長

5人中1人は自然農法の勉強をするため、7カ月で他町村へ。  
1人は、6カ月で東日本大震災の復興支援のため地元に戻った。  
3人目は、町内に残り

町外事業所に通っている。

もう1人は、残念ながら10月から県外の協力隊員になり、家族3人で町を離れた。

唯一、1人は町内に留まり、地域づくりの支援手伝いをしている。

**問** 西森(常)議員

協力隊員に定住してもらう方策はとっているか。

**答** 企画課長

募集に当たっては、応募者の自主性に任せている。

**問** 西森(常)議員

無責任すぎはしないか。募集に当たっては、

町内の状況を詳しく知らせ、仁淀川町に不足している保育士、介護士、自伐林家など積極的に情報発信すれば、移住、定住につながるはしないか。

島根県海士町は、町を挙げての積極的な政策が功を奏し、地元の高校に島外からの生徒が増え、移住者も増え活気づいている。

仁淀川町もしっかりしないと。

**答** 大野産業建設課長

頑張ります。

**問** 西森(常)議員

町長は、町内の公共施設(14カ所)に太陽光パネルを設置する考えのようだが、エネルギー政策をどのように考えているか。

**答** 町長

国の施策に合致していく必要があると考える。伊方原子力発電所の再稼働は、基準に沿った稼働であっても、想定外のことが起こる。可能な代替エネルギーがあれば、早期転換の必要があると考える。

**問** 西森(常)議員

5月21日の高知新聞の1面は、伊方原発合格だ。

原子力規制委員会は、四国電力伊方原発3号機について、原発の新規制基準に適合していると結論付けたとある。

同日の裏面の記事は、

原発作業員被爆上限250ミリシーベルトとある。

同規制委員会が今、現行の100ミリシーベルトを250ミリシーベルトに上げた。

その理由は、原発の再稼働が見込まれることから、規制委は見直しを急いでいた、とある。

仁淀川町は、脱原発を表明すべきと考えるが。

**答** 町長

将来に向けては、原子力に頼らない新しいエネルギーに取り組むべきと考える。



### (3) 仁淀川の鮎 “今が旬”

「オンチャンどうよ？」  
「さつき来て、10ちよつとやあ！けどチツクとコンマイき！」  
「何ばああるよ？」  
「14、5ばあーやろか」  
「ちようどええねえ！」

「関西では一匹卸で1千200円ばあになるとー」

釣り客のさりげない会話を耳にした。仁淀川の当たり前の会話、しかし他の町村や関西人が聞けば、うらやましいやり取り。

先日他府県に住んでいる知人が訪ねてきて、久しぶりに歓談し、一度仁淀川を案内してやと話がなった。

本流・支流と案内して、その友達の口から出た言葉が「急流があり、その近くに深みの淵のあるこの流れ、鮎が育つ最高の環境。こんな素晴らしい環境、なぜ仁淀川町観光を兼ねた売りにしない」と話す。

彼は関西に住み、多くの河川を訪ねる「半川漁師さん」。鮎漁仲間にも家族がいる、その家族を連れて、仁淀川町へは来る価値ありとの言葉、地元



仁淀川での鮎漁と景色

長くおり、また鮎漁について無知な私にはこんな身近に素晴らしい観光資源があったことを知らされた。清流を守るため、ごみを増やさないためいろいろ課題はあると思う。しかし、今一度見直し、物流システムの構築や、観光のPRをしてはいかがでしょうか。

片岡智準

# 仁淀川町よ どこへ行く

〔答〕

仕事創生総合戦略  
策定中



問

若藤敏久議員

急激な人口減に雇用不安、商売はダメ、年金は下がり物価や税金は上昇、各世帯の収入は激減し、明るい兆しはなく暗い要素ばかりだが、10年間町政を担当し現状は想定内か。

町民の大半は、町の将来に諦めを感じている。どのような町にしようと考え、そのための施策は。

答

町長

人口の減少率は合併時の想定どおりで、町内総生産も10年前と同額。

昨年の平均所得も県内34市町村中14位で、現在、地方創生総合戦略を策定中。

若年層の転出抑制、移住促進、出生率向上対策を進め自然減を抑制。

森林資源の活用と原木の増産も必要で、林業従事希望者を募り、町内業者の下で就労できる地方創生交付金を申請中。

問

若藤議員

町外から通勤している職員が、結婚をした女性職員を除いて約30人。妻と子ども2人の4人家族と仮定して120人が転出している勘定だ。

有事の際、町民のライフラインも守れない職員。故郷を捨て、町にソッポを向けた職員が、若者定住を唱え、移住促進を担当しても誰も聞く耳を持たない。

我慢し耐えている町民に夢と希望を与える施策は。

答

町長

職員は町内に住むべきで、機会があれば説得し、数人は帰町した。

また、新人には「町内に住んでほしい」と確認し採用に当たっている。

地域の資源を活用、雇用、所得の確保に努める。

答

企画課長

一言では難しいが、町民が安心して暮らせる町を目指す。

転出入口を抑制する施策と、移住者対策を推進する。

問

若藤議員

具体的にどうするかを言わないと答弁にならない。本町は自然が財産、山と川を売り出してこそ将来が見える。

仁淀ブルーの称号はいの町に、ふるさと納税の返礼品(アユ)は越知町に先を越された。

みかんとお茶はさっぱり、植林はもつとダメ。国の施策はすべて失敗し、山は二束三文。道路を造るだけが公共事業ではない。

答

町長

今こそ全国中山間の自治体の長が一丸となり、全伐、間伐を陳情するべきではないか。

町長、お人好しは結構だが、厳しくしないと職員に舐められている。

ふるさと納税の返礼品は一定数量を確保しなければならず、検討する時間がほしい。

課長もいろいろ考え頭をひねっている。

厳しい意見をいただきたいが、職務怠慢をしている訳ではない。

タクシーがつかまらない

問

若藤議員

交通弱者のため、良かれと思った施策(町営バス、コミュニティバス)がタクシー業を圧迫し、緊急時にタクシーはつかまらず、飲食店の客足も遠のいている。

何とかならないか。

答

町長

コミュニティバスの影響はあると思うが、車社

## 太陽光発電について

問

若藤議員

本町は、この先20年間町内公共施設(小・中学校、公民館、体育館など)

会が進み都会でもタクシー業界は厳しい状況だ。

個々への支援は難しいが町内業者が連携し、窓口を一本化すれば支援も可能かと思う。

の屋根を貸し、手数料と固定資産税を年間100万円受け取る。

発電された電気は業者が売電し、設置された設備は20年後に業者が撤去する条件である。

万一業者が倒産すれば、撤去費用は町の負担となり、受け取る金額では足りない。

将来に負の遺産を残すことにならないか町長の考えを問う。



ソーラーパネルの設置された屋根



## 答 町 長

設置や維持管理費用はすべて事業者負担、町は長期にわたり安定した収入が得られ、地域のクリーンエネルギーの普及に貢献できる。

昼間、災害時の停電に非常用電源として利用できる。

事故に備え、保険加入が前提となっており、総合的に判断してリスクも少ないと考える。

議員多数の賛同もいただいております、実施したいと考える。

## 問 若藤議員

室戸では竜巻が発生し、香美市では民間のメガソーラーが吹き飛ばされている。

この設備はガラスで覆われており、風速50mには耐えられない。

本町もいつ突風に見舞われるか分からず、町民の頭上に落下しないとも限らない。

地震による津波と原発事故、大雨による河川の氾濫と堤防の決壊は、すべて想定外の出来事だ。

異常気象が多発している今、屋根が遊んでいるからとわずか100万円に飛びつき、町の懐がどれだけ潤うのか合点がいかない。

それより90億円の予算を節約し、有意義に使うことの方が価値がある。

この事業はリスクが高く危険だと申しておく。

## 答 町 長

一定収入が得られることは貴重だ。

異常気象についても業者に相談し、契約に当たっては保険制度を含め万全を期し、慎重に取り組む。

議会だより40号

お詫びと訂正

10頁、4段目15行目「保育科」は「保育料」の誤りです。

11頁「広域事務組合報告」見出し中の「平成26年」は「平成27年」の誤りです。

お詫びして訂正します。

## 請願審査結果報告

## 仁淀川町議会のインターネット配信を求める請願

○提出者代表  
安部 博

○紹介議員  
竹本 文直

○付託常任委員会  
総務教育民生常任委員会

## 請願趣旨

私たち大部分の町民は、仁淀川町議会がどのように開かれているか関心がありますが、議会の傍聴に足向けることが仕事などの理由で困難な状況であります。広報誌では、「議会だより」に掲載されておりますが、より詳しい情報が知りたいのです。

現在は、情報化時代で便利なインターネット社会になってきました。仁淀川町でも、議会の様子をインターネット中継で流すことを検討してください。また、議会終了後でも見られるように配信していただければ幸いです。町外に出られている皆さんも関心があると思います。(ふるさと納税が増えるかもしれません)ご検討、よろしく願います。

## 審査の結果

現段階において、町議会の様子を伝える手段は唯一「議会だより」のみとなっている。議会の様子を多くの方に読んでいただき、一定の関心を持っていることはうかがえるが、町を担っていただく若い世代にもっと関心をもってもらうことが求められているなどの意

見や、交通手段や身体的理由、仕事などの理由で傍聴が困難な状況にあるなど、インフラ整備や社会全体で解消しなければならぬ課題も散見された。

審査の意見発表において各委員から、ネット環境の問題もあるが環境整備は必要であるといった発言や、経費的にも少なくすむ。情報社会において、今後、インターネット配信というのは必要だと思う。また、町民からいろいろ意見が出て参考になるのでは。県内的にもかなり普及をしている。将来的にもやっていく方がいいといった積極的な意見が出され、採決をした結果、27請第1号は、全員賛成で採択することに決定した。



## 議員寄附行為の禁止

仁淀川町議会に対し、平素は深いご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今年も余すところ、2カ月となりました。光陰矢のごとしといわれますが、本当に1年も早いものでございます。

さて、お正月になりますと、平素のご愛顧への感謝とあわせ、新年の年始ご挨拶は恒例となっています。

しかし、公職選挙法では「**選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。**」と寄附などの行為はもちろんのこと、**新年の年賀**をはじめ**挨拶回り**なども規制されております。

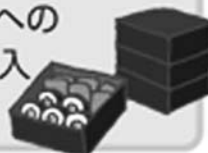
具体的には下記のような行為が禁止されており、仁淀川町議会として、法令遵守を徹底するよう申し合わせをいたしました。ご理解、ご協力を賜りますよう、ご案内申し上げます。

仁淀川町議会議員一同

秘書等が代理で  
出席する場合の  
結婚祝



地域の運動会・  
スポーツ大会への  
飲食物等の差入



お祭りへの  
寄附・差入



町内会の集会・  
旅行等の催物への  
寸志・飲食物の  
差入



みんなで徹底しよう  
**三ない運動**

贈らない!

求めない!

受け  
取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の  
対象となります。

落成式・  
開店祝等の  
花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・  
供花



秘書等が代理で  
出席する場合の  
葬儀の香典

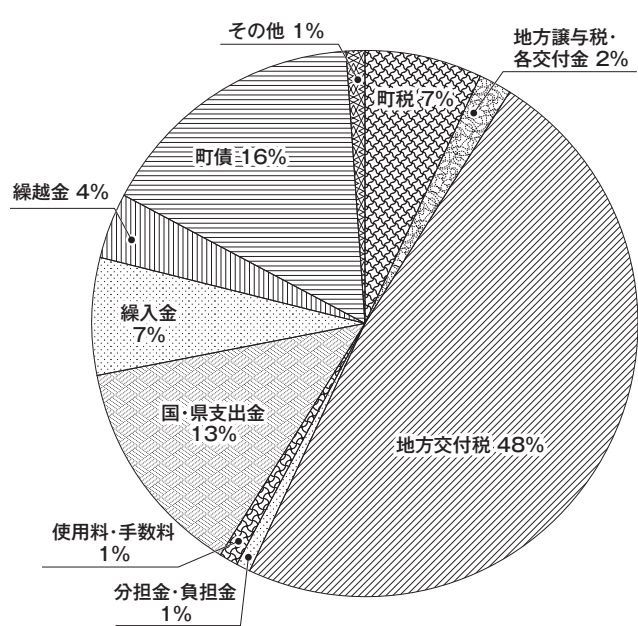




平成26年度一般会計歳入歳出決算

決算書より抜粋

区 分	金 額
1. 歳入金額	81億4,782万円
2. 歳出金額	77億9,479万7,000円
3. 歳入歳出差引金額	3億5,302万3,000円
4. 翌年度繰越額	1億6,202万8,000円
5. 実質収支額	1億9,099万5,000円

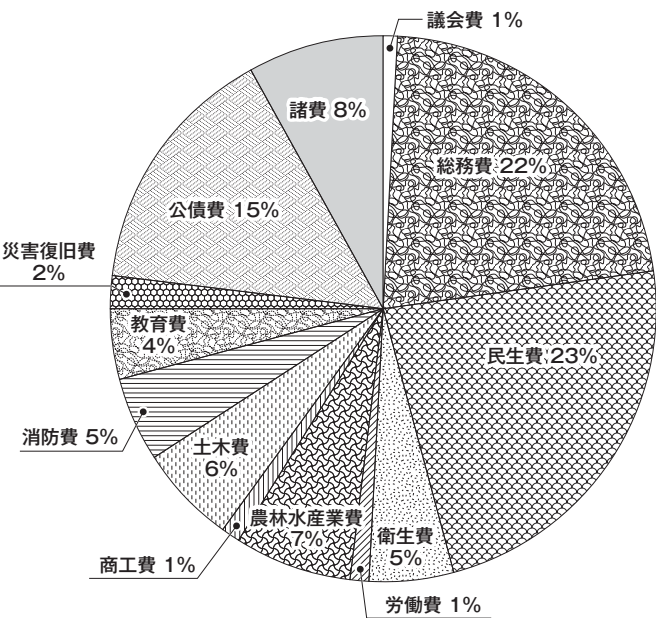


おもな歳入

区 分	構成比%	金 額
町 税	7	5億6,315万円
地方譲与税・各交付金	2	1億6,634万4,000円
地 方 交 付 税	48	39億9,880万7,000円
分担金・負担金	1	4,893万4,000円
使用料・手数料	1	6,585万6,000円
国・県支出金	13	10億3,297万7,000円
繰 入 金	7	5億4,276万8,000円
繰 越 金	4	2億9,165万1,000円
町 債	16	13億7,358万5,000円
そ の 他	1	6,374万8,000円

おもな歳出

区 分	構成比%	金 額
議 会 費	1	5,622万9,000円
総 務 費	22	18億9,292万4,000円
民 生 費	23	13億1,184万2,000円
衛 生 費	5	3億6,840万2,000円
労 働 費	1	3,781万8,000円
農 林 水 産 業 費	7	6億2,142万4,000円
商 工 費	1	6,508万円
土 木 費	6	5億5,685万9,000円
消 防 費	5	4億4,737万4,000円
教 育 費	4	3億2,864万8,000円
災 害 復 旧 費	2	1億7,153万円
公 債 費	15	12億5,838万4,000円
諸 費	8	6億7,828万3,000円



# 承認・可決(否決)された議案

## — 第4回 (7月) 臨時会 —

## — 第5回 (8月) 臨時会 —

### Q & A

第4回臨時会  
(平成27年7月13日)

#### ○専決処分の報告

■専決処分の報告について(物損事故に係る和解について)

#### 事故の概要

平成27年4月29日、町道椿山線を通行中の自動車左側後部のドアに、山側斜面からの落石が直撃し、損害を与えた事故。

#### 和解の内容

町は相手方に17万6千円を支払う。

町及び相手方は、本件事故に関し前項の金額以外に一切の債権、債務関係がないことを確認する。

#### 問 野村議員

状況証拠は十分にあり、警察立ち会いの下、損害賠償金を支払うことになったのか。



#### 答 竹本総務課長

事故報告を受け、保険会社にも確認してもらっている。

#### 問 若藤議員

落石場所と、損傷の詳細を。

通行人に当たったら大変なことになる。防災については腰が重い、今後注意を。

#### 答 総務課長

大野地区中心部から2kmほどの場所、後ろ側の座席ドアに20cm四方のへこみができていた。

#### ○補正予算

■平成27年度仁淀川町一般会計補正予算(第2号)について

古田地区の水路改修工事費や、町内全小中学校の非構造部材耐震化工事費など、7千711万3千円

を追加し、85億5千46万2千円とする。

#### 問 若藤議員

非構造部材は具体的にどのようなもので、どのような工事をするのか。



#### 答 津野教育次長

外壁や天井などのクラック補修、窓ガラスを強化ガラスに交換し、フィルム処理、本棚の転倒防止対策並びにガラス部分をフィルム処理する。

#### 問 藤村議員

耐震化工事のとときに非構造部材の工事と一緒にできなかったのか。



#### 答 大野教育長

耐震化工事のとときは、

全く対象になっていなかったが、東日本大震災時に非構造部材による被害が大きく、法律の改正があったため、今回行った。

#### 問 片岡政徳議員

耕地自然災害防止工事費の詳細の説明を。



#### 答 大野仁淀地域振興課長

古田地区の地滑り地域で行う排水路工190mの工事。

(可決 全員)

#### ○工事請負契約

■平成27年度道整備交付金事業町道泉線改良工事請負契約の締結について

契約金額

6千402万6千円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

株式会社 西森建設

(可決 全員)

■平成27年度道整備交付金事業林道大峠北浦線開設工事請負契約の締結について

契約金額

4千759万9千円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

株式会社 晃立

#### 問 若藤議員

予定価格でなく、契約金額が5千万以上の場合に議会の議決が必要とすることはできないのか。

#### 答 総務課長

変えられるのかどうか、検討する。

(可決 全員)

■平成27年度道整備交付金事業林道用居椿山線開設工事請負契約の締結について

契約金額

5千259万6千円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

栄宝生建設 株式会社



問 片岡智準議員

道整備工事の順番は決めているのか。  
不便なところから優先して工事を行うべきではないか。



答 片岡副町長

この事業は、平成24年度からの工事として計画されており、順次、計画に従い施行している。

問 竹本議員

大峠北浦線の工事現場下流域の楮原地区の方から、工事開始後取水で問題が発生しているという声があるが。



答 谷平池川地域振興課長

現在、確実な取水ができるよう現場の見直しを

行っている。

(可決 全員)

■平成27年度大植・折合地区飲料水供給施設整備工事請負契約の締結について

契約金額

6千210万円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

株式会社 西森建設

(可決 全員)

○その他

■仁淀川町過疎地域自立促進計画の変更について

マラソンイベントの助成事業を追加するもの。

問 野村議員

マラソンは毎年行われるのか。



答 片岡企画課長

今後も継続していくと考えて計上をしている。

問 西森常晴議員

継続してやるならば桜の時期に走っている最中に食べさせるのか。

答 企画課長

給水所には産品を小さくして置き、少しずつ食べながらという形をとる。

マラソン終了後に産品を購入できるように生産者の方にお店を出していただく。

問 西森常晴議員

給水所で食べるのは100kmのウルトラマラソンやフルマラソン。  
ハーフマラソンではまず食べない。食べていたら気管に詰まり危険だ。

答 企画課長

実行委員会でも、食べながらは無理だという話もあったが、一口サイズであれば大丈夫ではないかと。

問 竹本議員

準備にすぐく労力がいえると思うが、継続していくための見直しは。記念事業終了後、検証をしてから計画の変更を行っている。

答 企画課長

過疎計画の変更は、本年度の変更。

(可決 全員)

第5回臨時会

(平成27年8月5日)

○工事請負契約

■平成27年度仁淀川町池川総合支所改修工事請負契約の締結について

契約金額

1億4千646万2千円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

栄宝生建設 株式会社

問 竹本議員

一度、入札が成立しなかったようだが経緯の説明を。

入札に参加しやすい体制を作る必要があるのではないか。

答 総務課長

1回目の入札時、1社を残して他の業者がすべて辞退し、入札中止となった。

問 片岡智準議員

指名をしたが辞退した業者は、その後しばらくの間指名を控える。損失覚悟で入札に参加された業者の評価を高くするなどの配慮は。

答 総務課長

以前、しばらくの間指名を控えるという措置を行ったこともある。

しかし、町としては、できるだけ町内の業者に受注していただきたい。

そのことを勘案しながら、指名業者選考委員会で、その都度決定している。

問 若藤議員

指名願いを出しておきながら辞退するのは失礼な話だ。新たな対応も考えては。  
仁淀支所の新築の計画はどうなっているのか。



答 吉田仁淀総合支所長

用地は買収しており、基本設計は今年度中に実施設計は28年度中に行う予定。

(可決 全員)



# 承認・可決(否決)された議案

## —第4回 (9月) 定例会—

○平成26年度決算の認定

■平成26年度仁淀川町一般会計歳入歳出決算の認定について

別表参照(15ページ)

問 竹本議員

買い物支援サービスの利用状況。

産業振興ふるさと雇用事業費補助金の詳細。

間伐材等流通促進事業補助金の繰越明許費の多い理由。

緊急間伐総合支援事業補助金の内容。

観光会計繰出金の内容。宝来荘の効果の検証を行ったのか、を聞く。

事業を行ったなら、検証を行い、新しいものに挑戦していくことも必要だ。

答 企画課長

買い物支援サービスの利用状況は、月に10件程度。

産業雇用振興補助金は、フードプランのドレッシングなどの商品開発を行うために、2人の雇用人件費。



答 大野産業建設課長

間伐材流通促進補助金の繰り越しは、池川の製材工場。

緊急間伐支援補助金は、作業道、搬出間伐、保育間伐など39人分。

答 仁淀地域振興課長

観光会計繰出金は、観光センターの改築、改修による赤字補てん。

答 池川地域振興課長

宝来荘の施設管理料は380万円で、26年度内の利用者は宿泊客、レストラン部門合わせて4千352人。

答 町長

限られた財源の中、いかに効果を上げていくか検証を行い、チャレンジもしていく。

問 片岡智準議員  
敬老会補助金を、敬老対象者だけでなく、ボランティアの方にも補助できないか。



答 大野保健福祉課長

70歳以上の住民基本台帳に登録されている対象者1人につき1千500円の補助を行っているが、ボランティアの方の力も必要だと感じており、現状を把握していく。

問 片岡政徳議員

時間外勤務手当が、平成25年度の2倍支給されている理由は、福祉タクシー、地域タクシの実績の詳細を。

答 総務課長

昨年度の夏、週末ごとに台風の襲来があり、避難所の開設のため昼夜を通し職員が勤務したため、時間外手当が大幅に増えている。



新庁舎建設予定地

答 保健福祉課長

福祉タクシー券は、対象者が234人、利用率が88%。

地域タクシー券は、対象者が1千980人、利用率が40%。

さらに広報などで周知を図っていく。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額9億5千944万2千721円。

歳出総額9億5千856万9千792円。

(認定 全員)



■平成26年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定歳入歳出決算の認定について

歳入総額2億2千985万1千576円。  
歳出総額2億2千827万8千847円。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額12億438万3千246円。  
歳出総額12億438万3千246円。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億2千118万3千561円。  
歳出総額1億2千79万6千461円。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億52万2千206円。  
歳出総額9千781万7千682円。

大崎簡易水道配水管パイパス敷設事業繰越明許費165万8千円。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額4千567万2千405円。  
歳出総額4千466万6千566円。

(認定 全員)

■平成26年度仁淀川町観光センター等管理運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額3千171万6千900円。  
歳出総額3千170万8千873円。

(認定 全員)

## ○条例の改正、廃止

■仁淀川町地方創生基金条例について

仁淀川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業を円滑に実施するため基金を設置し、活用するもの。

問 竹本議員

なぜ制定が必要なのか。今あるまちづくり基金条例で十分ではないか。

来町者が「仁淀川町で遊ぶ本」の統計を見て「仁淀川町はもうダメだ」と言っているのと同じだ、なぜこのような統計を載せるのか」と指摘をされた。

危機感を持っていたきたい。

答 副町長

当初、全額交付の予定であった国の交付金が2分の1となった。事業を円滑に進めるため、基金を設け運用していきたい。

答 町長

地域創生の取り組みは、県とも歩調を合わせ、

計画を作成している。

(可決 賛成多数)  
反対 竹本文直

■仁淀川町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

マイナンバー法の施行に伴い、特定個人情報にかかると必要な事項を定めるため一部を改正するもの。

(可決 全員)

■仁淀川町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について

近隣自治体と同様に、失職の例外規定を設けようとするもの。

問 竹本議員

具体的にどのような例を指すのか。

答 総務課長

人身事故など、重大な交通事故などで公務員は失職するが、情状酌量の余地を残すもの。

問 竹本議員

判断は誰がするのか。

答 総務課長

職員の懲戒処分を決定する委員会と、専門家の意見を聞き判断する。

(可決 全員)



## ■仁淀川町手数料徴収 条例の一部を改正する 条例について

マイナンバー法の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの交付について必要な事項を定めるもの。

(可決 全員)

## ○補正予算

## ■平成27年度仁淀川町 一般会計補正予算(第 3号)について

北浦公園の用地買収土地購入費4千856万円など、5億1千910万円を追加し、90億6千956万2千円とする。

問 竹本議員

財産管理費の計画委託料が200万円の減額となっている理由と、その他の委託料の説明を。

答 仁淀総合支所長

仁淀総合支所トレーニングセンターの基本構想を委託するようにしていたが、検討委員会の意見を基に町で作成したた

め、減額となっている。

答 総務課長

本庁舎の入札が不調となり、設計変更委託料626万4千円が必要となった。

問 竹本議員

本庁舎設計契約がどのようなになっているのか分からないが、落札され、工事契約が結ばれて設計契約が終わるのではないか。

答 町長

入札前に設計委託完了の引き渡しを受け終了という契約。  
今回、再度要請をし、設計をお願いした。どこでも同じ対応で行っている。

問 西森常晴議員

本庁舎設計委託で、今までに支払われた設計委託料の金額と、設計変更内容の説明を。

答 総務課長

設計費用は全体で7千506万円。そのうち、2千251万8千円を支払い済み。設計内容の変更は、必

要最低限のものを洗い出していく。面積について変更予定はない。

問 西森常晴議員

今建てるのは条件が悪い。庁舎建設、一度休んでみないか。

答 町長

基盤作りをしつかりと進め、将来に備えておかないといけない。  
厳しい中での見直しになるが、ご理解を。

問 片岡智準議員

庁舎の入札は、全くゼロからの新しい入札となるのか。  
前回の入札の要領に、仁淀川町産材を使用するという文言がなかったが条件をつけては。

答 総務課長

設計を変更するため新たな入札となる。  
町産材の使用の項目は付けていた。

問 片岡政徳議員

設計変更をすると、町長が理想とする建物ができないのではないのか。

資材の高騰、技術者の問題で工事費が上乗せされている社会的現状を踏まえ、庁舎建設は一度休むべきだ。

答 町長

大きく設計を変更することはない。  
現在の予算でいける方向を検討していく。

問 片岡政徳議員

規模を変えずに予算内で建てるは無理がいく。理想的な建物を造ろうとしているのであればもう少しよっと考えるべきだ。白紙に戻してほしい。

答 町長

中身の精査を行う。

問 若藤議員

設計を変更し予定価格を下げて、また不調になるのでは。  
今までの設計に無駄なものはないはずだ。庁舎については、議員も半分ほどの人数が木造でやってほしいと思っている。

町長も、譲るところは譲らないと庁舎ができない。

答 町長

レベルを下げ、金額を下げて不調になる可能性はある。  
歩掛りなど、他の要素も検討し見直ししていく。

問 若藤議員

ごみ収集について、町民が時間通りにごみを出していないのに、役場のごみ担当者が業者を呼び回収に來させていると聞いたが。

答 片岡明徳仁淀健康福祉課長

担当者からは相談を受けており、課長である私の責任である。  
今一度、私に任せていただきたい。



耐震診断予定(中央公民館)



**問 藤村議員**  
防災対策費で、国道33号線上の家屋耐震診断、設計をするに聞いたが、対象戸数は。

**答 総務課長**  
県の道路啓開計画の補助で、中央公民館なども含め、対象戸数は17戸。

**問 片岡智準議員**  
耐震は家だけではない。山はどうするのか。

**答 総務課長**  
山や橋梁などいろいろな要素はあるが、今回は、33号線上にある家屋が対象。

(可決 全員)  
棄権 西森 常晴  
片岡 政徳  
竹本 文直

■平成27年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

1千794万7千円を追加し、10億2千197万5千円とする。

(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第1号)について

258万1千円を追加し、2億413万4千円とする。  
(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

931万5千円を追加し、12億2千852万8千円とする。  
(可決 全員)

○その他

■財産の取得について  
戸籍総合システム・ブックレス機器更新事業。

**問 藤村議員**  
機器の購入とシステムの改築と両方か。



**答 坪内町民課長**  
機器とサーバー、システムの改築の両方。  
(可決 全員)

■教育委員会委員の任命について



住所

仁淀川町森

氏名 若藤 仁  
2142番地1地

**問 片岡智準議員**

この方は素晴らしい方だが、80歳近くになられる。本人も遠慮させてもらいたいと話されていたようだが。

**答 町長**

後継者の推薦についてお願いをしながら、幅広く人材を求めている。  
(同意 全員)

■人権擁護委員候補者の推薦について



住所

仁淀川町森

氏名 植田 和生  
4137番地1地  
(同意 全員)

○規則の改正

■仁淀川町議会会議規則の一部を改正する議会議規則

第2条に次の1項を加えるもの。

「議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる」  
(可決 全員)

■仁淀川町議会傍聴規則の一部を改正する規則について

議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに關して、社会情勢などを勘案し、杖については削除するもの。  
(可決 全員)

○決議

■地域建設業者を積極的に育成を求める決議  
発議者 西森久雄議員  
(可決 全員)

■仁淀川町内建設業者の優先指名入札に関する決議  
発議者 藤村良太郎議員  
(可決 全員)



# 独立行政法人国際協力機構 (ジャイカ)



研修視察団と別府小学生

## 議長（ロメモ）

ご長寿を迎えられました皆さんおめでとうございます。  
今年、終戦から70年の節目の年でもあり、戦時中戦後復興の激動の苦しい時代を乗り越え、現在の社会を築いてこられたことに感謝と敬意を申し上げます。  
合併10年を迎え、庁舎建設、少子高齢化、雇用、経済など幾多の課題が山積しておりますが、町民の協力をいただきながら、政治生命をかけ、夢と希望のあるまちづくりに取り組んでまいります。

議長 岡田良成

日 記 帳	
9月6日	第3回定例議会 仁淀川町移住交流拠点施設のおひろめと地域交流会 仁淀川町防災パトロール 仁淀川町老人クラブ連合会総会 総務教育民生常任委員会 国道439号新矢筈トンネル早期実現期成同盟会定期総会 （秋葉の宿） 国道494号整備促進期成同盟会定期総会 （秋葉の宿） 成同盟会定期総会 会総会 （秋葉の宿） 仁淀川町身体障がい者会総会及び懇親会 （副議長出席） 高知県町村議会議長会臨時総会（高知市） 議会だより特別委員会 国土交通省四国地方整備局への要望活動（高松市） 仁淀川町消防大会 全員協議会
7月	1312日 8日
9月	8日 3日
8月	27日 21日 20日 7日 6日 5日
15月17日	総務教育民生常任委員会 全国森林環境税創設促進議員連盟第22回定期総会及び土佐・長岡・吾川郡町村議会連絡協議会視察研修（新潟県） 【議長・副議長出席】 議会だより特別委員会 市町村議会議員研修（高知市） 第5回臨時議会 全員協議会 産業建設常任委員会（町道視察） 第15回四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会（高松市） 【議長・副議長出席】 【議会だより特別委員会】 土佐・長岡郡・吾川郡議会議員合同研修会（大川村） 総務教育民生常任委員会 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会（高知市） 吾川郡町村議会議長会（いの町） 議会運営委員会

## 編集後記

「星ヶ窪」その昔、隕石の落下により窪地ができたので「星ヶ窪」といわれるようになったと伝えられている。

明治12年、旧暦の3月10日に琴平神社への奉納草競馬が初めてここで開かれ、昭和34年までは一万人以上の人が出で賑わったそう、そのころ私は1歳だった。

満天の星空が見えるスポットとしても知られ、コメントハンターの関勉さんは発見した星にこの地名にちなんだ「星ヶ窪」と名前を付けている。

昭和38年7月には、青少年の健全な野外学習の場として、県モデルキャンプ場に指定されている。

現在は、地元の方々が草引き、草刈り清掃などされているが、人口減少や高齢化で維持管理に支障をきたしている。

しかし、長者の宝物である星ヶ窪。毎年、キャンプに来てくれる人たちのためにキレイな星ヶ窪にも頑張りつつ、地元の者も頑張っている。

皆さんも、あなたの花を咲かせてみませんか。議会だより編集委員 西森 久雄